

通常の学級における特別な配慮が 必要な子どもへの支援

～音楽の楽しさを引き出す授業アイデアと支援の工夫～

吉野川市立鴨島小学校 教頭
香川 紘之介

今回の内容

- 音楽科における特別支援教育の視点
- 楽しい音楽の授業とは
- 授業でのICT活用について
- 支援を必要とする子どもへの配慮

音楽科における特別支援の視点

- 楽譜からの情報量の多さ
- リコーダーなどの楽器の演奏の困難さ（運指など）
- 音楽づくりにおけるあいまいさ（何をどうすればいいか分からない）
- 鑑賞での感想の難しさ（曲について何を書けばいいのか）

など



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

1. 歌唱

発声練習

- 子どもたちが知っている曲
- 簡単に歌いやすい曲
- 伴奏がしやすい曲



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

1. 歌唱

「おなかの体操」

- おなかで歌う意識をもたせるための曲
♪おなかの体操 ホホホホー
きれいな声で ハハハハハー
- 半音ずつ上げて（下げて）いく
へ長調→嬰へ長調→ト長調・・・

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

1. 歌唱

「おなかの体操」

- おなかで歌う意識をもたせるための曲
♪おなかの体操 ホホホホー
きれいな声で ハハハハハー
- 半音ずつ上げて（下げて）いく
へ長調→嬰へ長調→ト長調・・・

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

1. 歌唱

「きらきら星」

- いろいろな言葉（1語）で歌う
「ホ」や「ハ」、「ヒ」で
- 半音ずつ上げて（下げて）いく
へ長調→嬰へ長調→ト長調・・・

頭声的発声に無理なく
楽しく取り組むことができる



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

1. 歌唱

「きらきら星」

- いろいろな言葉（1語）で歌う
「ホ」や「ハ」、「ヒ」で
- 半音ずつ上げて（下げて）いく
へ長調→嬰へ長調→ト長調・・・

頭声的発声に無理なく
楽しく取り組むことができる



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽

リコーダーが苦手になる原因



●音がうまく出せない →

①息が強すぎる（弱すぎる）

②穴がきちんとふさがっていない

●伴奏に合わせることが難しい →

音の処理が間に合わないから
伴奏に合わせられない。

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽

リコーダーが苦手になる原因



- 音がうまく出せない → ①息が強すぎる（弱すぎる）



具体的な指示で

新幹線の息で

手を温める時の息で



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽

リコーダーが苦手になる原因



- 音がうまく出せない → ②穴がきちんとふさがっていない



押さえている指を確認する

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽



指の腹に穴の形がつくように



しっかり塞ぐことができる



指先で力一杯押さえている



隙間ができて音が出ない



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽

楽しく演奏するための方法

- ① 補助具を使う
 - ・ 魚の目パッド
 - ・ ふえピタ



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

2. 器楽

楽しく演奏するための方法

② 音を減らす

例 「メリーさんのひつじ」

(小学生の音楽3 教育芸術社)

ラー ソファソ ラララ

↓

ラー ファーラララ

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

③音楽づくり

1年	ことばでリズム	えからうまれるおんがく
2年	おまつりの音楽	楽器でおはなし
3年	手拍子でリズム	クロックミュージック
4年	言葉でリズムアンサンブル	打楽器の音楽
5年	打楽器でリズムアンサンブル	
6年	ボイスアンサンブル	など

教育芸術社

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

③音楽づくり

音楽づくりの授業で指導者が感じている課題

自由な発想をどう引き出すか

「自由に」と言っても児童の中には何をしたいのか分からず戸惑っている場面が多く見られる

評価の難しさ

成果物だけで評価するのが難しい

具体的な評価基準の設定や記録方法が不明瞭

I C Tの活用

タブレットや録音機器などを使った音楽づくりは効果的だが、機器の扱いや時間配分に課題がある

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

③音楽づくり

自由な発想をどう引き出すか

「自由に」と言っても
児童の中には何を
しているのか分からず戸
惑っている場面が多く
見られる

1

音や楽器を制限する

素材・テーマ・形式に制限を設けることで、発想がしやすくなる。

2

音のイメージを膨らませる

視覚や言葉から音への橋渡しをする。

3

共有する場をつくる

共有と対話を通じて、表現の多様性を学ぶ。

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

③音楽づくり

評価の難しさ

成果物だけで評価するのが難しい

具体的な評価基準の設定や記録方法が不明瞭

プロセスの重視

イメージ、試行、発表、振り返りなどの過程を評価する。

録音・録画による記録

記録に残すことで、後から振り返りや評価がしやすい。

協働的な学びの評価

児童同士のやりとりや、聴き合う活動等を通しての評価を行う。

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

③音楽づくり

ICTの活用

タブレットや録音機器などを使った音楽づくりは効果的だが、機器の扱いや時間配分に課題がある

操作に慣れ親しむ

段階的な導入やグループで取り組むなど配慮が必要。

目的と手段を混同しない

どの場面で使ったら深い学びにつながるのかをよく考える。

考える時間を十分に確保する

イメージを表現したり、工夫・改善をするための時間を確保する。

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

④鑑賞

小学校学習指導要領 音楽編

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身につけることができるよう指導する。

ア 曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。

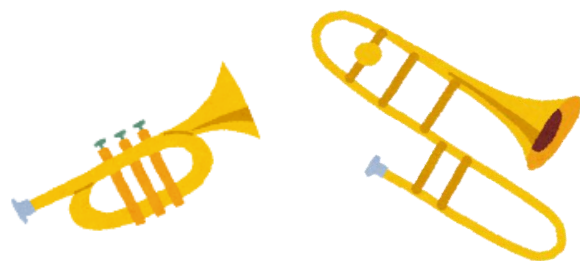
(思考力、判断力、表現力等)

イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

(知識)

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

④鑑賞



小学校3年
「いろいろな
音のひびきに
親しもう」
(金管楽器)



トランペットなどの
金管楽器

小学校4年
「いろいろな
音のひびきを
楽しもう」
(木管楽器)



フルートとクラリネット

楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

④鑑賞

組曲「くるみ割り人形」から行進曲 小学生の音楽Ⅰ 教育芸術社

1. 曲の構成を時系列に並べる
2. 活躍する（主な）楽器を知る
3. 主な旋律を図形楽譜で示す
4. 感じたことや気づいたことなど



楽しい音楽の授業アイデア(領域別)

④鑑賞

「こうしんきょく」のたのしさをみつけてきこう

はじめ

おわり

ア

イ

ア

ウ

ア

イ

ア

がっきの音



せんりつ



おんがくのかんじ

はずんだ

わくわくする

ゆったり

はげしい

おとがさがっていく

授業でのICT活用について

①タブレットで録音・録画

リコーダー等の演奏

- ・ 何度でも撮り直すことが可能。
- ・ 録画したものを後で教師や児童が見直すことができる。



記録の可視化

協働的な学び

- ・ 客観的に振り返ることが可能。
- ・ 比較することで、よりよい表現につなげることができる



豊かな表現に

授業でのICT活用について

②Scratchで音楽（京都市情報教育研究会）

<https://www.edu.city.kyoto.jp/giga/tools/index.html>

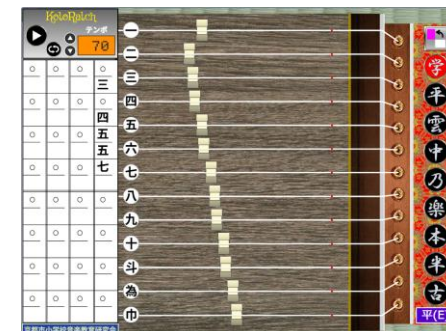
scratchで音楽

音楽づくりの学習で活用できる

KotoRatch

バーチャルで箏を演奏できる。
旋律づくりも可能

	タイトル	概要
	Scratchで音楽	小学校音楽科における「音楽づくり」の学習場面で、数多くの音楽シミュレーションが行えます。
	さんすうのおどろくば	小学校算数用 数値ブロック、時計などの学習教具
	KotoRatch	「事の学習」シミュレーター
	てっしんもっしん	木さんや鉄さんの演奏練習をするためのアプリ
	ミニけんばん ハーモニカ	（コロナ対応）「けんばんハーモニカ」シミュレーター



授業でのICT活用について

③範唱・範奏CDをファイル化

メリット

- ・CDを入れ替える必要がなくなる
- ・すぐに音を流したり止めたり、飛ばすことができる。

デメリット

- ・ライン接続、またはBluetooth接続ができる機器が必要。
- ・PC等に取り込むのに手間がかかる。

授業でのICT活用について

④ブラウザ上で使える音楽ツール

Chrome Music Lab(クロームミュージックラボ)

- ・14の音楽体験ができるツール。音楽への興味関心を高める
- ・メロディメーカーやArpeggios(和音)など

MUSICCA(ムジカ)

- ・音階やリズム、バーチャルでの楽器演奏ができる
- ・和音や音階の学習の導入等に活用しやすい

支援を必要とする子どもへの配慮

- ①楽譜には音符や強弱記号などさまざまな情報があり、楽譜を見ながら演奏をすることが難しい。
- ②手先を使うのが困難な児童にとっては、リコーダーや鍵盤ハーモニカ等での演奏が困難。
- ③音楽づくりは、自由につくることが難しい。
- ④鑑賞では、長い曲ほど何を聴いて感想を書いたらいいいのかかわからない。

参考文献

- ・ 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編 文部科学省
- ・ 尾見敦子 (1987)『鎌田典三郎の合唱教育』 音楽之友社
- ・ 公益財団法人音楽鑑賞振興財団 (2021)『よくわかる！音楽鑑賞の授業づくり
小学校・中学校』
- ・ 京都情報教育研究会 「Scratchで作成された学習用ツールへのリンク」
<https://www.edu.city.kyoto.jp/giga/tools/index.html>